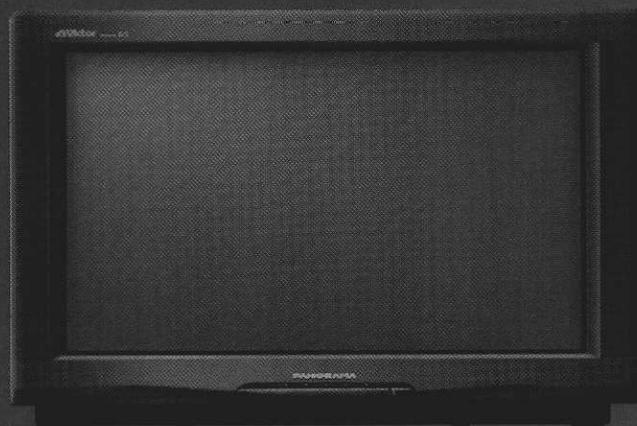


ビクターワイドテレビ

型名 **AV-20V4**
AV-24V4
AV-28V4

PANORAMA



イラストはAV-28V4です。

AV-28V4です。

AV-28V4です。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と
別冊の「使用上のご注意」をよくお読みください。
お読みになったあとは、後日調べたいときのために
大切に保存してください。

異常かな？と思ったら

音は出るが画面が映らない、煙が出たり変な音や臭いがする…など、故障したままの使用は危険です。すぐに差し込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

本書とハンドブックの使い方.....	4
テレビをお使いになる前に.....	5

リモコンと本体のボタン

電源	本体の電源ボタン	6
	リモコンの電源ボタン	6
入力切換 チャンネル	本体の入力切換ボタン	6
	チャンネルボタン	7
音量	リモコンのチャンネル（－、＋）ボタン	8
	本体のチャンネル（－、＋）ボタン	8
	リモコンの音量（－、＋）ボタン	9
画面サイズ	本体の音量（－、＋）ボタン	9
	消音ボタン	9
	オートパノラマボタン	10
	手動ボタン	11
	ワイド映画ボタン	11
	レギュラー/フルボタン	12
音声	本体の画面サイズ選択ボタン	12
	垂直スクロールボタン	13
	音声切換ボタン	13
	音声調節ボタン	14
	サラウンドボタン	15
映像	低音ボタン	15
	映像選択ボタン	15
	映像調節ボタン	16
	表示ボタン	16
	標準ボタン	17
	E.E.センサーボタン	17
テレビゲーム	白バランスボタン	18
	ゲームボタン	18
タイマー	オフタイマーボタン	18
画面表示	画面表示ボタン	19
ビデオ	ビデオ1/2/3/ボタン	19

テレビゲームやビデオを楽しむための機能

テレビゲーム	テレビゲームを楽しむには（映像・音声出力端子付ゲーム機の場合）	20
	テレビゲームを楽しむには（映像・音声出力端子がないゲーム機の場合）	21
ビデオ	ビデオテープを再生するには	22

準備

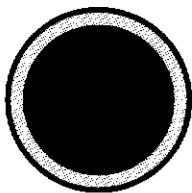
電源の準備	電源プラグの接続	23
	リモコンの乾電池の入れ方	23
接続について	本体後面の接続端子について	23
アンテナ	VHF、UHFアンテナの接続	24
	CATVケーブルの接続	25
AV機器	ビデオ機器の接続	26
	オーディオ機器の接続	27
	ヘッドホンの接続	27
メニュー	メニュー機能	28
	メニューの基本操作	29
メニュー/タイマー設定	時計合わせ	30
	おはようタイマー	31
メニュー/チャンネル設定	チャンネル合わせ	32
	チャンネルスキップ設定	33
	CATVダイレクト設定	34
メニュー/各種設定	モニター出力設定	35
困ったとき	故障かな?と思ったらまず確かめて	36
	こんなメッセージが表示されたら	38
付録	こんなことがしたいときは(目的別索引)	40
	仕様	42
	保証と修理サービス	43

付属品

本機には次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

リモコン	1個	取扱説明書(本書)
単4乾電池(動作確認用)	2個	ハンドブック
アンテナコネクター	1個	使用上のご注意
局名シール	1シート	サービス窓口案内

本機の画面処理機能を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において使用されますと、著作権法で保護されている著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。



本書とハンドブックの使い方

本機の取扱説明書は、ハンドブックと本書に分かれています。ハンドブックには、日常よく使う機能の使い方をまとめてあります。テレビの近くなどに置いてご覧ください。

本書（取扱説明書）には、本機の全ての機能（リモコンやメニュー機能）およびアンテナやビデオ機器の接続などを項目別に解説しています。目次や目的別索引、分類などから知りたい項目を探してください。

●この取扱説明書で使われているマークについて



故障などを防ぐため、特に注意していただきたいことを表します。

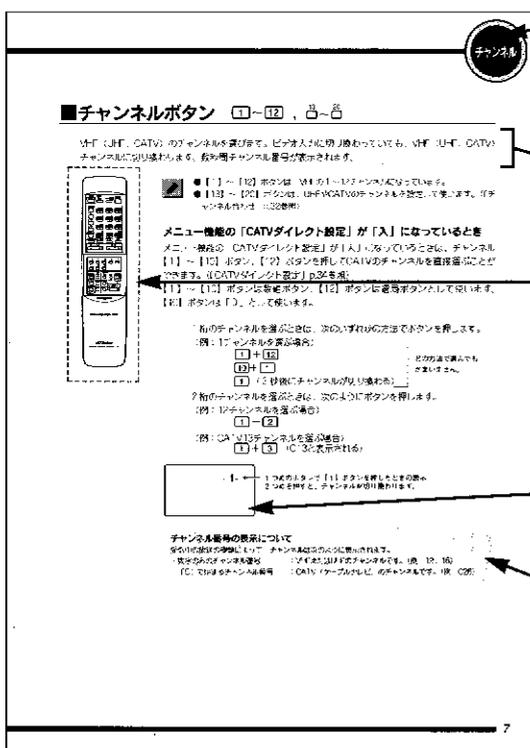


操作するとき気をつけていただきたいことや、他の機能との関連事項を表します。

【手動】 ボタン リモコンや本体のボタンを表します。

【1】 ボタン

●各項目の読み方



分類

電源、チャンネル、音量など、説明項目を機能別に分類してあります。知りたい情報を探すときにお使いください。

機能や操作、接続などの概要を説明

ボタン位置

リモコンの使用するボタンの位置を色分けて表しています。説明中のボタンの位置を確認するときにお使いください。

画面例

操作中に画面に表示されるメッセージやメニューです。

コラム

説明項目に関連するちょっとした知識をまとめてあります。

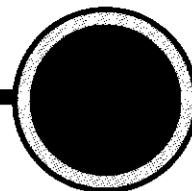
●知りたい説明を探すには...

- ・ リモコンや本体のボタンの使い方がわからないときは、目次から目的のボタン名を探してください。
- ・ どのボタンやメニューを使えばいいかわからないときは、40ページの「こんなことがしたいときは（目的別索引）」や分類をもとに探してください。



●この取扱説明書で使用しているイラストはAV-28V4です。

AV-20V4、AV-24V4で異なる場合は、説明文やイラストで補足説明しています。



テレビをお使いになる前に

テレビをお使いになる前には、次の準備をしてください。

●アンテナを接続します。

VHF、UHFの接続 (p.24参照)

(CATVケーブルの接続は、CATV関連会社にお問い合わせください。)

●リモコンに乾電池を入れます。(p.23)

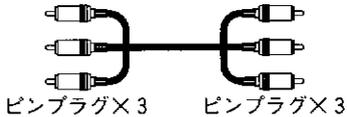
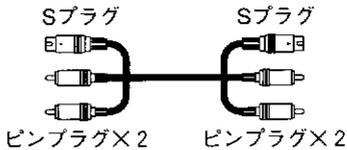
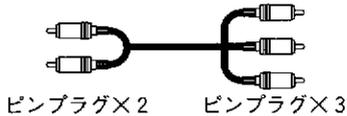
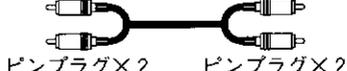
●電源プラグをコンセントに差し込みます。(p.23)

●UHF、CATVのチャンネルが映るように設定します。

UHF、CATVを見るには、次のいずれかの方法でチャンネルを設定します。

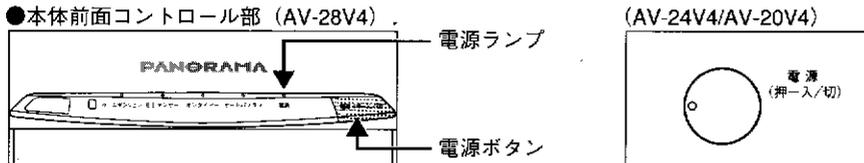
- ・チャンネルボタンの【1】～【20】に見たいチャンネルを設定します。(p.32参照)
→チャンネルボタンで、UHFやCATVのチャンネルが選べるようになります。
- ・2桁の数値を入力してチャンネルを選べるように設定します。(p.34参照)
→CATVのチャンネルが多い場合に使います。

●ビデオデッキを接続するときは、接続する機器に合わせて準備をします。(p.26～p.27)

接続ケーブル一覧表		下記以外にも便利なケーブルがありますので販売店にお問い合わせください。	
映像・音声端子	ステレオ音声のビデオ機器用	 ピンプラグ×3 ピンプラグ×3	VX-17 (1m) VX-18 (2m)
		 Sプラグ Sプラグ ピンプラグ×2 ピンプラグ×2	VC-S410HF (1m) VC-S420HF (2m)
	モノラル音声のビデオ機器用	 ピンプラグ×2 ピンプラグ×3	VX-15 (1m) VX-16 (2m)
映像端子	S1またはS映像端子用	 Sプラグ Sプラグ	VC-S110HF (1m) VC-S120HF (2m)
	映像端子用	 ピンプラグ ピンプラグ	VX-10 (1m) VX-12 (2m)
音声端子	ステレオ用	 ピンプラグ×2 ピンプラグ×2	CN-180A (1m) CN-181A (2m)

■本体の電源ボタン

テレビの電源を入/切します。電源ランプが消えているときに押すと、テレビの電源が入り、電源ランプが点灯します。電源ランプが点灯しているときに押すと、テレビの電源が切れ、電源ランプが消えます。電源が入ると数秒間チャンネル番号が表示されます。

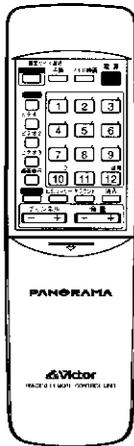


- 電源が入らないときは、もう一度押してください。
- 通常は電源ランプが点灯した状態にしておき、リモコンで電源を入/切します。
- 長期間テレビを使用しないときは、このボタンで電源を完全に切ってください。

■リモコンの電源ボタン



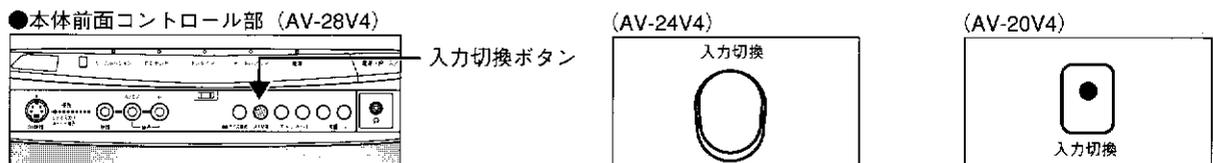
本体の電源ランプが点灯しているときに、テレビの電源を入/切します。電源が入ると数秒間チャンネル番号が表示されます。



- 本体の電源ランプが点灯しているときは、テレビが映ってなくてもリモコン受光部などに電源が供給されており、リモコン操作でいつでも電源を入/切できます。
- 本体の電源ランプが消えているときには使えません。

■本体の入力切換ボタン

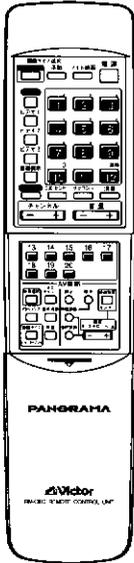
ボタンを押すたびにVHF (UHF、CATV)、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3の順に切り換わります。数秒間チャンネル番号またはビデオ番号が表示されます。



- AV-24V4、AV-20V4は、VHF (UHF、CATV)、ビデオ1、ビデオ2の順に切り換わります。

■チャンネルボタン 1 ~ 12 , 13 ~ 20

VHF (UHF、CATV) のチャンネルを選びます。ビデオ入力に切り換わっていても、VHF (UHF、CATV) チャンネルに切り換わります。数秒間チャンネル番号が表示されます。



- 【1】 ~ 【12】 ボタンは、VHFの1~12チャンネルになっています。
- 【13】 ~ 【20】 ボタンは、UHFやCATVのチャンネルを設定して使います。(「チャンネル合わせ」 p.32参照)

メニュー機能の「CATVダイレクト設定」が「入」になっているとき

メニュー機能の「CATVダイレクト設定」が「入」になっているときは、チャンネル【1】 ~ 【10】 ボタン、【12】 ボタンを押してCATVのチャンネルを直接選ぶことができます。(「CATVダイレクト設定」 p.34参照)

【1】 ~ 【10】 ボタンは数値ボタン、【12】 ボタンは選局ボタンとして使います。【10】 ボタンは「0」として使います。

1桁のチャンネルを選ぶときは、次のいずれかの方法でボタンを押します。

(例：1チャンネルを選ぶ場合)

- ・ 1 + 12
- ・ 10 + 1
- ・ 1 (3秒後にチャンネルが切り換わる)

どの方法で選んでもかまいません。

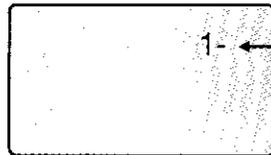
2桁のチャンネルを選ぶときは、次のようにボタンを押します。

(例：12チャンネルを選ぶ場合)

- ・ 1 + 2

(例：CATV13チャンネルを選ぶ場合)

- ・ 1 + 3 (C13と表示される)



1つめのボタンで【1】 ボタンを押したときの表示
2つめを押すと、チャンネルが切り換わります。

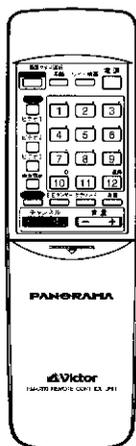
チャンネル番号の表示について

受信中の放送の種類によって、チャンネルは次のように表示されます。

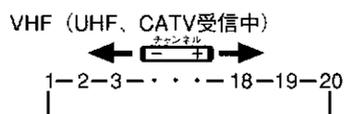
- ・ 数字のみのチャンネル番号 : VHFまたはUHFのチャンネルです。(例：12、16)
- ・ 「C」で始まるチャンネル番号 : CATV (ケーブルテレビ) のチャンネルです。(例 C26)

■ リモコンのチャンネル（－、＋）ボタン

VHF（UHF、CATV）のチャンネルを順番に切り換えます。「＋」側を押すと番号の大きなチャンネルに、「－」側を押すと番号の小さなチャンネルに切り換わります。数秒間チャンネル番号が表示されます。



●VHF（UHF、CATV）受信中は1～12チャンネルと13～20ボタンに設定したチャンネルが切り換わります。

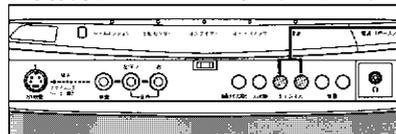


- メニュー機能の「CATVダイレクト設定」が「入」になっているときは1～12チャンネルと、CATVのC13～C35チャンネルのうちチャンネルスキップを解除した（「受信」に設定した）チャンネルに切り換わります。
- メニュー機能の「チャンネルスキップ設定」で、放送が映らないチャンネルを飛ばすように設定できます。（「チャンネルスキップ設定」p.33参照）
- ビデオ入力に切り換わっているときは、使えません。
- 本体の【チャンネル（－、＋）】ボタンも同じ働きをします。

■ 本体のチャンネル（－、＋）ボタン

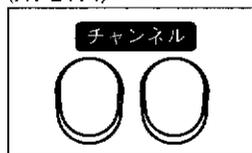
リモコンの【チャンネル（－、＋）】ボタンと同じ働きをします。

●本体前面コントロール部（AV-28V4）

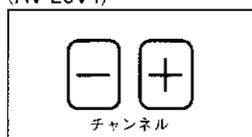


チャンネル（－、＋）ボタン

（AV-24V4）

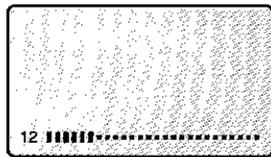
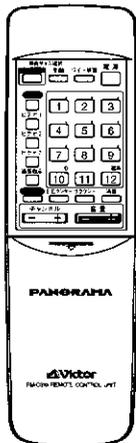


（AV-20V4）



■リモコンの音量（－、＋）ボタン

音量を調節します。「＋」側を押すと音量が大きく、「－」側を押すと小さくなります。調節中は音量レベルが表示されます。

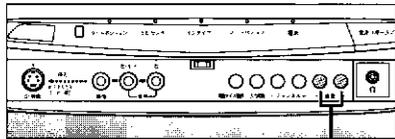


- レベルは0～50の51段階で調節できます。
- 本体の【音量（－、＋）】ボタンも同じ動きをします。

■本体の音量（－、＋）ボタン

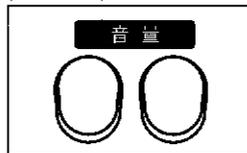
リモコンの【音量（－、＋）】ボタンと同じ動きをします。

- 本体前面コントロール部（AV-28V4）

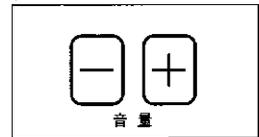


音量（－、＋）ボタン

（AV-24V4）



（AV-20V4）



■消音ボタン

音量レベルを0にします。数秒間音量レベル0が表示されます。もう一度押すと元の音量に戻ります。電話や来客などで、とっさに音を消したいときに押します。



- 【音量（－、＋）】ボタンや【電源】ボタンを押したとき、おはようタイマーが働いたときは解除されます。

■オートパンoramaボタン

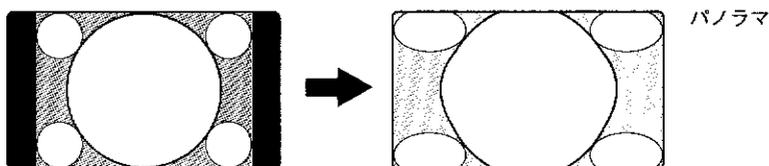
オートパンoramaを「入」にすると、映像に応じて最適な画面サイズに自動的に切り換わります。本体のオートパンoramaランプが点灯し、数秒間「オートパンorama 入」のメッセージが表示されます。

【手動】ボタン、【レギュラー/フル】ボタン、本体の【画面サイズ選択】ボタンを押すと解除されます。数秒間、「オートパンorama 切」のメッセージが表示されます。

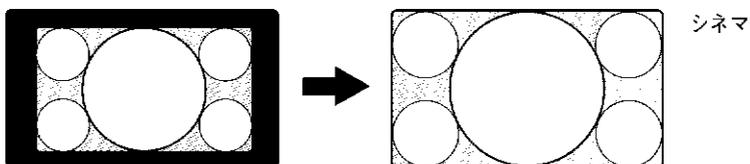


画面サイズは、映像の状態に応じて次のように切り換わります。

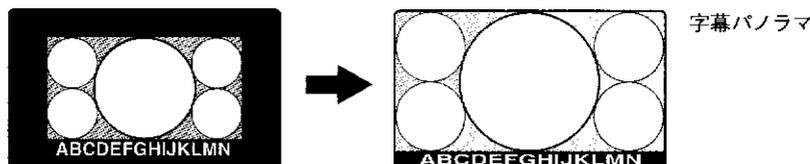
普通の番組（4:3）はパンoramaになります。パンoramaは、普通のテレビサイズ（4:3）の映像を、不自然に見えないように左右方向の拡大率を変化させ、画面いっぱい（16:9）に拡大します。



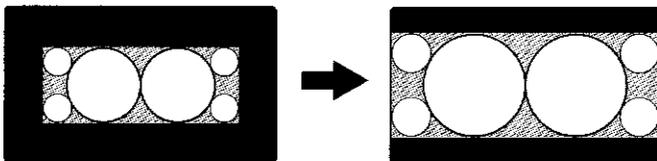
劇場サイズ（ピスタサイズ）の映画番組（16:9）はシネマになります。シネマは、周囲の黒い部分をカットし、そのまま画面いっぱい（16:9）に拡大します。



スクリーンの下に字幕が入った劇場サイズの映画番組は字幕パンoramaになります。字幕パンoramaは、字幕が切れないように、字幕の部分を圧縮して画面いっぱい（16:9）に拡大します。



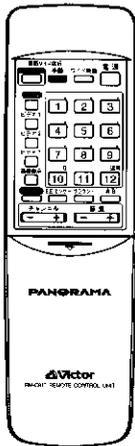
- ゲームポジションが「入」のとき、BSチューナーとMUSE-NTSCコンバーターを使ってハイビジョン番組を受信しているときは使えません。
- 【垂直スクロール（▼、▲、センター）】ボタンは使えません。
- シネマや字幕パンoramaでは、画面の黒い部分の量によって自動的に映像の位置が調節されます。
- 映画など、上下に黒い帯のある映像が映ってから画面サイズが切り換わるまで、判別のために数秒かかります。また、画面全体が暗い映像の場合判別にさらに時間がかかることがあります。
- 画面全体、または一部が暗いシーンなど、映像によっては動作しない場合や、途中で画面サイズが切り換わることがあります。この場合は【手動】ボタンで好みの画面サイズを選択してください。画面サイズが固定されます。（「手動ボタン」p.11参照）
- 映像の横と縦の比率は「16:9」のひとつとおりだけではありません。映像サイズによっては上下に黒い帯が残る場合があります。



■手動ボタン

画面サイズを、パノラマまたは字幕パノラマ、シネマに固定します。ボタンを押すと、そのときの映像状態に応じてパノラマ、字幕パノラマ、シネマのうち最適な画面サイズに切り換わります。数秒間「オートパノラマ 切」のメッセージとそのときに選ばれた画面サイズが表示されます。さらにボタンを押すと、他の画面サイズに切り換わります。

好みの画面サイズで見たいときや、オートパノラマで見ているときに途中で画面サイズが変わるような場合に使います。

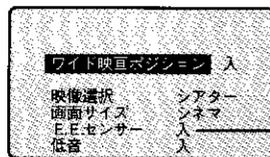
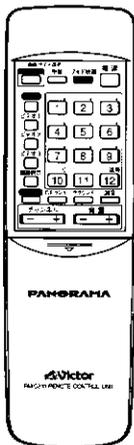


- 画面全体、または画面の一部が暗いシーンのときに押すと、画面サイズ切り換え作業中を表す「 画面サイズ選択 手動 入」が表示されることがあります。このようなときは、続けてボタンを押して自分で画面サイズを選ぶか、画面全体が明るいシーンのときにもう一度押し直してください。ただし、「 画面サイズ選択 手動 入」の表示は最大約20秒続き、その後画面サイズが切り換わります。
- 画面サイズ切り換え作業中を表す「 画面サイズ選択 手動 入」表示は、通常一瞬だけ表示されて、すぐ画面サイズ表示に変わります。
- ゲームポジションが「入」のとき、BSチューナーとMUSE-NTSCコンバーターを使ってハイビジョン番組を受信しているときは使えません。

■ワイド映画ボタン

ワイド映画ポジションを「入」にすると、リアルな色調の映像と臨場感のある音質に切り換わります。画面サイズは字幕パノラマまたはシネマを選択できます。数秒周次のメッセージが表示されます。ボタンを押すたびに字幕パノラマ、シネマ、「ワイド映画ポジション 切」が切り換わります。

映画番組を楽しむときに使います。



AV-20V4とAV-24V4のときには、E.E.センサーの表示はできません。

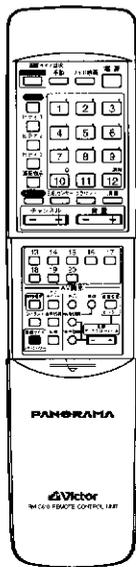


- 映像選択は「シアターまたはシネマ」、E.E.センサーおよび低音は自動的に「入」になります。(AV-20V4とAV-24V4のときは、低音のみ自動的に「入」になります。)映像選択は、AV-28V4のとき「シアター」、AV-20V4とAV-24V4のときは「シネマ」と表示されます。
- ゲームポジションが「入」のとき、およびハイビジョン番組を受信しているときは使えません。
- 【垂直スクロール(▼、▲、センター)】ボタンで画面位置を調節できます。
- 【オートパノラマ】ボタン、【手動】ボタン、本体の【画面サイズ選択】ボタンを押すとワイド映画ポジションは「切」になり、元の画面サイズに戻ります。
- チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入れなおすと、ワイド映画ポジションは「切」になり、元の画面サイズに戻ります。

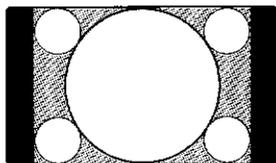
■レギュラー／フルボタン



画面サイズをレギュラー（4:3）またはフル（16:9）に切り換えます。ボタンを押すたびに2つの画面サイズが交互に切り換わります。数秒間画面サイズ名が表示されます。普通の番組を拡大せずにそのままの映像で見たいときはレギュラー、ハイビジョン番組などが不自然な映像で映るときはフルを選びます。

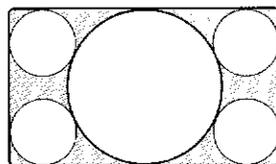
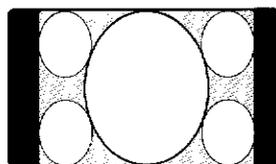


レギュラーは普通のテレビと同じ4:3の映像をそのまま映します。



レギュラー

フルはハイビジョンの16:9の映像をそのまま画面いっぱいに映します。



フル

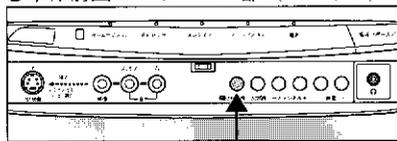


- ゲームポジションが「入」のときや、フルモード自動判別に対応しているMUSE-NTSCコンバーターやBS付ビデオデッキでハイビジョン番組を受信しているときは自動的にフルになり、このボタンは使えません。
- 普通の番組（4:3）の映像をフルにすると、均一に拡大されるため、横に引き延ばされた映像になります。
- 次のような映像をパノラマや字幕パノラマ、シネマ、レギュラーで見ると、不自然な映像になります。フルを選んでから見てください。
 - ・フルモード自動判別に対応していないMUSE-NTSCコンバーターを使ってハイビジョン番組を見るとき
 - ・ハイビジョン番組をS1端子のないビデオ機器でフルモードで録画または再生をしたとき

■本体の画面サイズ選択ボタン

画面サイズをオートパノラマ、パノラマ、字幕パノラマ、シネマ、フル、レギュラーに切り換えます。数秒間画面サイズ名が表示されます。

●本体前面コントロール部（AV-28V4）

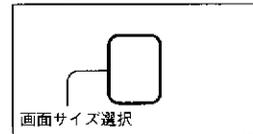


画面サイズ選択ボタン

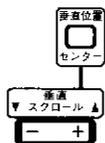
（AV-24V4）



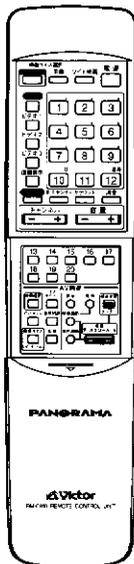
（AV-20V4）



■垂直スクロールボタン



画面位置を上下に調節します。【▲】ボタンを押すと上に、【▼】ボタンを押すと下に、【センター】ボタンを押すと「センター」と表示され標準位置に移動します。調節中は次のメッセージが表示されます。画面上下の字幕スーパーやスコアなどが画面からはみ出してしまうようなとき使います。

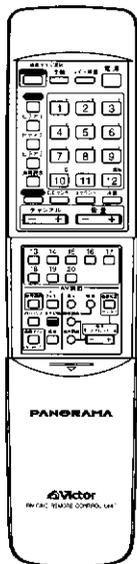


- オートパノラマが「入」のときは使えません。
- 画面の▲▼が赤で表示されたときは、それ以上同じ方向に移動できません。
- 画面サイズを切り換えると、画面の位置は標準位置に戻ります。
- 画面サイズがフルのときは、3段階に切り換わります。
- 画面サイズがレギュラーのときにはスクロールしません。

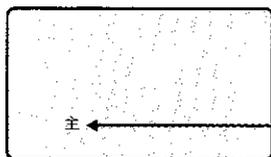
■音声切換ボタン



音声多重放送やステレオ放送の音声を切り換えます。音声多重放送受信中は主音声、副音声、主+副音声、ステレオ放送受信中はステレオとモノラルが切り換わります。数秒間、次のメッセージが表示されます。さらにボタンを押すと、音声切り換わります。



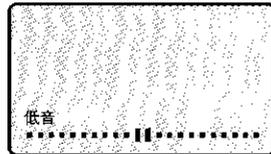
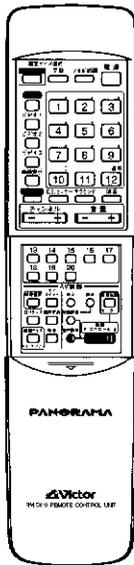
VHF、UHF受信中



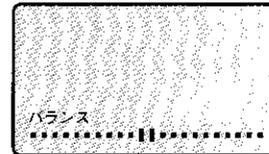
- ビデオ入力に切り換わっているときは使えません。
- 選んだチャンネルが音声多重で放送されているときは、チャンネル番号の下に、選択中の音声（主、副、主+副）が数秒間表示されます。
- 選んだチャンネルがステレオで放送されているときは、チャンネル番号の下に「ステレオ」と数秒間表示され、自動的にステレオになります。
- ステレオ放送で受信すると雑音が多いときは、モノラルに切り換えると雑音が少なくなります。

■音声調節ボタン

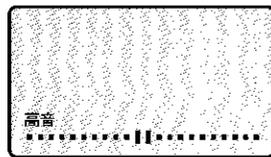
音声の高音の強弱、低音の強弱、左右のバランスを調節します。下のメッセージが表示されます。さらにボタンを押すと低音、高音、バランスの順に調節できる項目が切り換わります。メッセージの表示中に【-】ボタン、【+】ボタンを押して音声を調節します。数秒間何もしないと、音声調節が終了します。



+ 強める
- 弱める



+ 右側の音を大きくする
- 左側の音を大きくする



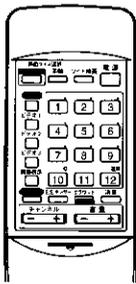
+ 強める
- 弱める



- ドラマやニュース番組は低音・高音とも弱めにするとうかがいやすくなります。
- クラシック音楽を聞くときは高音を強めに、ロックやポップスは低音・高音とも強めに、演歌は低音を低めにするとうれいのある音が楽しめます。

■ サラウンドボタン

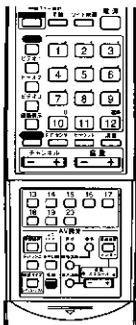
音の広がりや立体感を強調するサラウンドを入/切します。数秒間現在のサラウンドの状態が表示されます。さらにボタンを押すとサラウンドの入/切が切り換わります。広がりのある音を楽しみたいときに使います。



- ステレオ放送のときだけ効果があります。

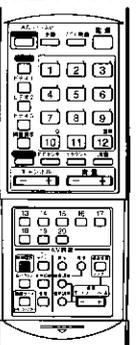
■ 低音ボタン

低音を強調します。数秒間現在の低音の状態を表示します。さらにボタンを押すと低音の入/切が切り換わります。迫力のある音を楽しみたいときに使います。

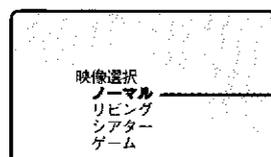


■ 映像選択ボタン

映像をノーマル、リビング、シアターまたはシネマ、ゲームに切り換えます。数秒間現在の映像が表示されます。さらにボタンを押すと、4つの映像状態が順番に切り換わります。ノーマルは直射日光が差し込むような明るい部屋でテレビを見るとき、リビングはふつうの部屋でテレビを見るとき、シアターまたはシネマは映画を見るとき、ゲームはテレビゲームをするときに最適です。部屋の状態や番組などに合わせて、最適な映像で楽しみたいときに使います。

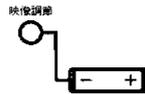


- 各映像のピクチャー、明るさ、色のこさ、色あい、画質を自分の好みに調節することもできます。(「映像調節ボタン」p.16参照)
- AV-28V4では「シアター」、AV-20V4とAV-24V4では「シネマ」と表示されます。



現在選択されている映像名 (紫色)

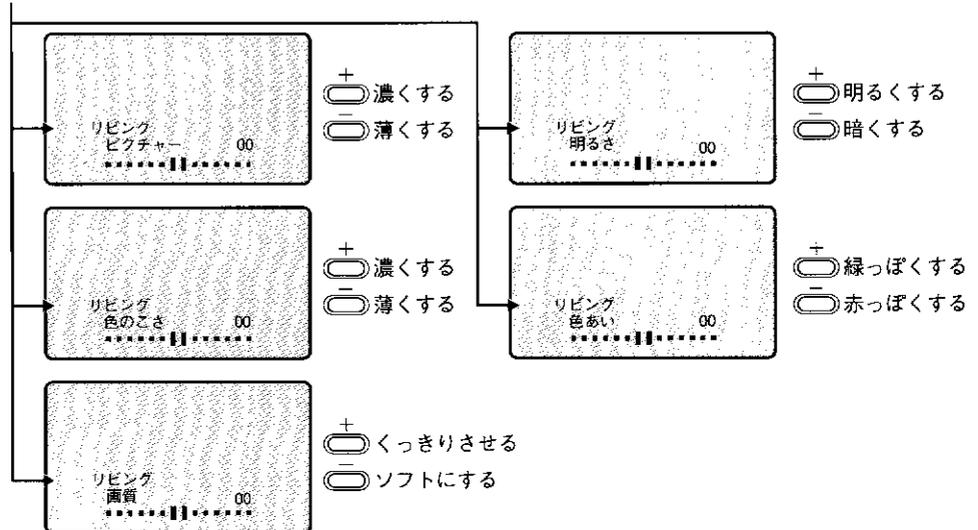
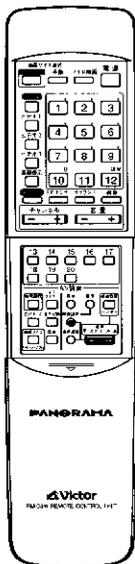
■映像調節ボタン



映像選択ボタンで選んだノーマル、リビング、シアターまたはシネマ、ゲームそれぞれのピクチャー、明るさ、色のこさ、色あい、画質のレベルを調節します。下のメッセージが表示されます。さらにボタンを押すと、ピクチャー、明るさ、色のこさ、色あい、画質の順に調節できる項目が切り換わります。メッセージの表示中に【-】ボタン、【+】ボタンを押してレベルを調節します。数秒間何もしないと、映像調節が終了します。

ノーマル、リビング、シアターまたはシネマ、ゲームの映像を部屋の状態や好みによって調節したいときに使います。

選択中の映像名 (選択されている映像によって変わります)

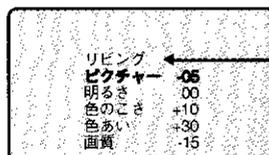
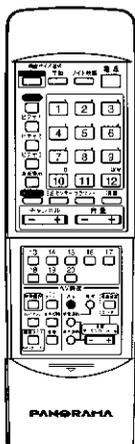


- 各レベルは-30から+30までの61段階で調節できます。
- 各レベルを標準値 (工場出荷状態) に戻すときは、【標準】ボタンを押します。
(「標準ボタン」 p.17参照)

■表示ボタン



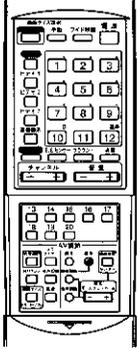
ピクチャー、明るさ、色のこさ、色あい、画質のレベルを同時に表示して調節します。下の画面が表示されます。【映像調節】ボタンを押すと調節できる項目が変わります。【-】ボタン、【+】ボタンを押してレベルを調節します。もう一度表示ボタンを押すと終了します。



← 選択中の映像名 (選択されている映像によって変わります。)

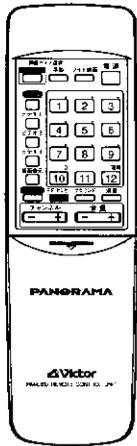
■標準ボタン

映像のピクチャー、明るさ、色のこさ、色あい、画質のレベルを標準値（工場出荷状態）に戻します。画面に数秒間標準値が表示されます。

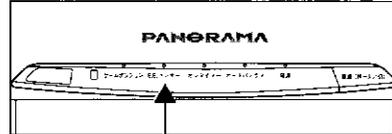


■E.E.センサーボタン

部屋の明るさに応じて画面の明るさを自動調節するE.E.センサーを入/切します。数秒間次のメッセージが表示されます。ボタンを押すたびに「E.E.センサー 入（表示モード 入）」「E.E.センサー 入（表示モード 切）」とE.E.センサー「切」が切り換わります。E.E.センサーが「入」になると、本体前面のE.E.センサーランプが点灯します。

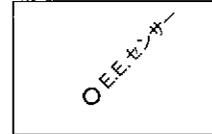


●本体前面コントロール部 (AV-28V4)



E.E.センサーランプ

(AV-24V4)

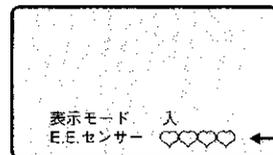


(AV-20V4)



「表示モード 入」にすると、明るさが変わるたびに画面に次のように表示され、E.E.センサーの効果を確かめることができます。

(通常は「表示モード 切」にしてお使いください。)



← 画面の明るさのレベルを表します。
(明るさに応じて増減します。)

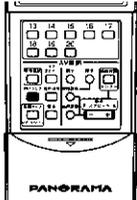


●AV-28V4では、ワイド映画ポジションが「入」のときは、E.E.センサーは自動的に「入」になります。【E.E.センサー】ボタンは使えません。

E.E.センサーの「E.E.」はEcology & Economy（目にやさしく省電力）+Electronic Eye（電子の目）からとったネーミングです。E.E.センサーは部屋の明るさに合わせて映像の明るさを自動的に調節します。見やすく目に優しい画面でテレビを楽しめます。

■白バランスボタン 白バランス

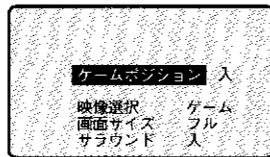
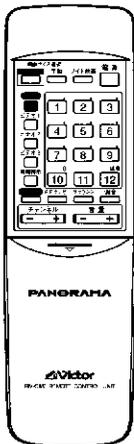
画像の青みや赤み（色温度）を「中」「高」「低」に切り換えます。数秒間現在の白バランスの状態が表示されます。さらにボタンを押すと、中（標準）、高（色温度「高」：青みが少し強くなる）、低（色温度「低」：赤みが少し強くなる）が切り換わります。



- ワイド映画ポジションが「入」のとき、ゲームポジションが「入」のとき、映像選択が「シアターまたはシネマ」のときは使えません。

■ゲームボタン ゲーム

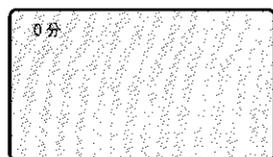
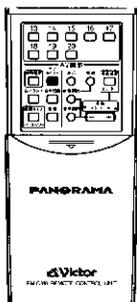
ゲームポジションを「入」にし、ゲームに最適な迫力のある音声と映像に切り換えます。数秒間次のメッセージが表示されます。もう一度押すと、ゲームポジションは「切」になります。ゲームポジションが「入」になると、画面サイズはフル、映像選択は「ゲーム」、サラウンドは「入」になります。テレビゲームを楽しみたいときに使います。



- メニュー機能で時計合わせをしてあるときは、1時00分、2時00分などちょうど時刻になると、画面右下に数秒間、時刻が表示されます。時計合わせがされていないときは表示されません。
- ゲームポジションが「入」のときは、次のボタンは使えません。
【オートパノラマ】ボタン、【手動】ボタン、【ワイド映画】ボタン、【レギュラー/フル】ボタン、本体の【画面サイズ選択】ボタン、【サラウンド】ボタン、【白バランス】ボタン、【映像選択】ボタン
- チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入れなおすと、ゲームポジションは「切」になり、元の画面サイズに戻ります。

■オフタイマーボタン オフタイマー

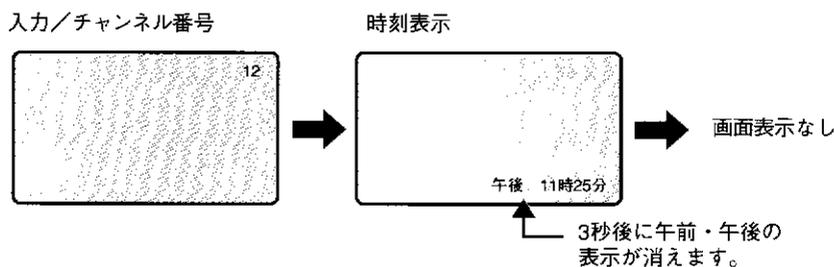
自動的に電源を「切」にする時間を設定します。次の画面が表示されます。さらにボタンを押すと、0分、30分、60分、90分、120分の順に切り換わります。設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。解除するときは、時間を0分に設定します。おやすみ前やおでかけ前などにテレビの消し忘れを防ぐときに使います。



- 設定したあとにボタンを押すと、残り時間が画面に表示されます。
- 電源が切れる3分前になると、残り時間が画面に表示されます。

■画面表示ボタン

画面に「入力／チャンネル番号」「時刻」を表示するかしないかを切り換えます。ボタンを押すたびに画面表示が切り換わります。



- 時計合わせをしていないときは「ー時ー分」と表示されます。メニュー機能の「時計合わせ」で時刻を設定してください。(「時計合わせ」p.30参照)

■ビデオ1 / 2 / 3ボタン

ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3の入力端子に接続したビデオ機器の映像を選びます。このボタンを押したときにVHF (UHF、CATV) が映っていても、ビデオ入力に切り換わります。数秒間ビデオ入力番号が表示されます。(【ビデオ3】ボタンおよび、ビデオ3入力端子はAV-28V4のみです。)



- ビデオ機器から映像信号が出ていないときは、ビデオ番号が表示されたままになります。
画面表示で時計表示を選んでいるときは、ビデオ番号を表示したあと、時刻が表示されます。
- 【チャンネル (-、+)】ボタン、【音声切換】ボタンは使えません。

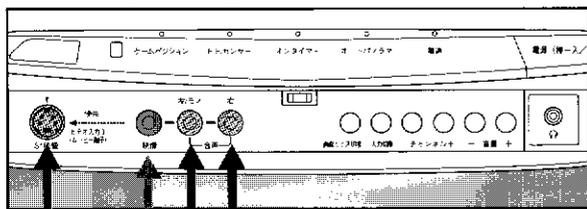
■ テレビゲームを楽しむには (映像・音声出力端子付ゲーム機の場合)

映像・音声出力端子付のゲーム機は、本体前面のコントロールドア内部のビデオ端子に次の図のように接続します。(AV-24V4の場合は天面にコントロールドアがあります。)

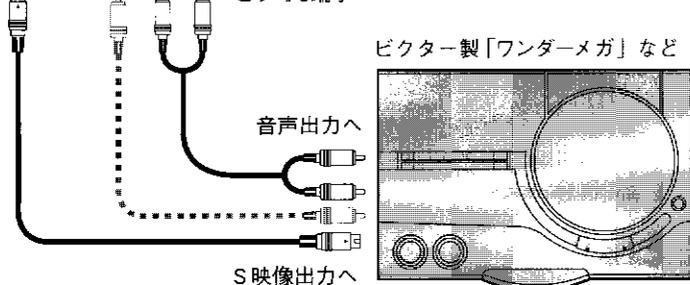


●必ずそれぞれの機器の電源を切ってから接続してください。

AV-28V4の場合 (本体前面コントロール部)



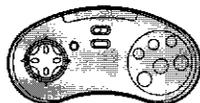
ビデオ3端子



ビクター製「ワンダーメガ」など

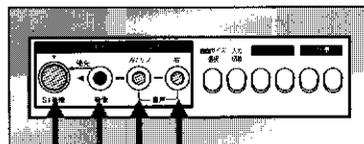
音声出力へ

S映像出力へ



テレビゲームにS端子がないときは、映像ケーブルを映像端子に接続します。

AV-24V4の場合 (本体天面コントロール部)



ビデオ2端子

AV-20V4の場合 (本体前面コントロール部)



ビデオ2端子

テレビゲームをするときは、次の手順で準備します。

- 1 ゲーム機の電源を入れます。
- 2 【ビデオ2】ボタンを押します。(AV-28V4の場合は【ビデオ3】ボタンを押します。) ゲームの画面が映ります。
- 3 【ゲーム】ボタンを押します。 ゲームポジションが「入」になります。

これで準備完了です。迫力ある画面でゲームをお楽しみください。

メニュー機能の時計合わせをしてあるときは、1時00分、2時00分などちょうど時刻になると画面右下に数秒間時刻を表示します。

熱中しすぎて時間を忘れてしまうことがないように、目安としてお使いください。

- 4 ゲームが終わったら、【ゲーム】ボタンを押します。 ゲームポジションが「切」になります。



●ゲームポジションを「入」にすると、画面サイズはフル、映像選択は「ゲーム」、サラウンドは「入」になり、迫力のある音声と映像でゲームを楽しめます。(「ゲームボタン」p.18参照)

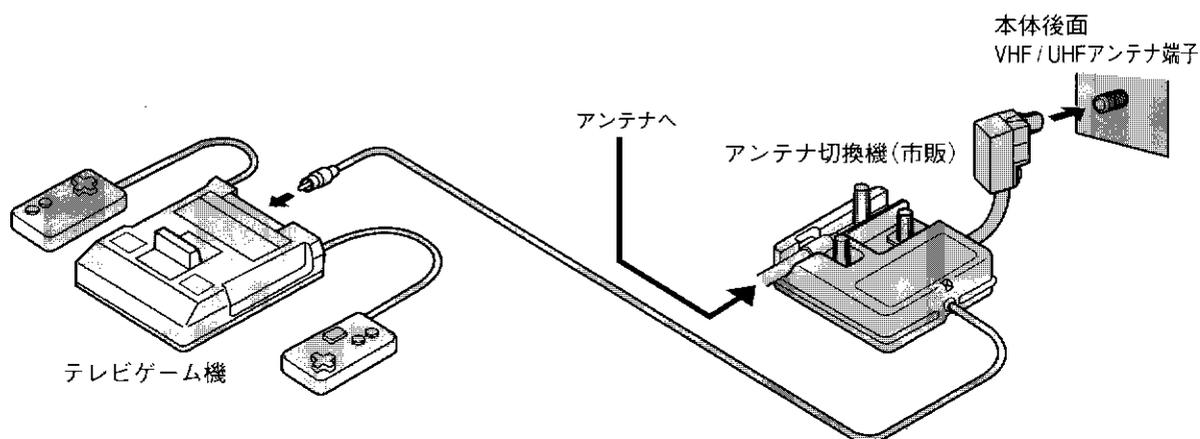


■テレビゲームを楽しむには (映像・音声出力端子がないゲーム機の場合)

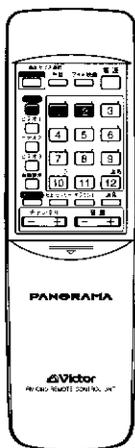
映像・音声出力端子が付いていないゲーム機は、市販のアンテナ切換器を使ってVHF/UHFアンテナ端子に次の図のように接続します。



●必ずそれぞれの機器の電源を切ってから接続してください。



テレビゲームをするときは、次の手順で準備します。



- 1 ゲーム機のチャンネルを1または2に設定します。
- 2 ゲーム機の電源を入れます。
- 3 テレビのチャンネルを1または2に切り換えます。
ゲーム機で設定したチャンネルに切り換えてください。
ゲームの画面が映ります。
- 4 【ゲーム】ボタンを押します。
ゲームポジションが「入」になります。

これで準備完了です。迫力ある画面でゲームをお楽しみください。

メニューで時計合わせをしてあるときは、1時00分、2時00分などちょうど時刻になると画面右下に数秒間時刻を表示します。

熱中しすぎて時間を忘れてしまうことがないように、目安としてお使いください。

- 5 ゲームが終わったら、【ゲーム】ボタンを押します。
ゲームポジションが「切」になります。

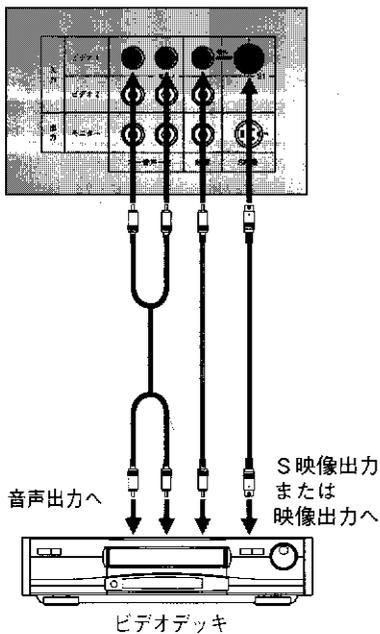


●ゲームポジションを「入」にすると、画面サイズはフル、映像選択は「ゲーム」、サラウンドは「入」になり、迫力のある音声と映像でゲームを楽しめます。(「ゲームボタン」p.18参照)

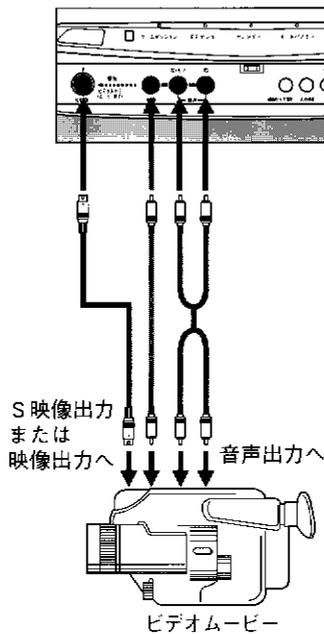
■ビデオテープを再生するには

据置型ビデオデッキやビデオムービーで録画したテープを再生するときは、本体後面のビデオ端子、本体前面のコントロールドア内部のビデオ端子に次の図のように接続します。(AV-24V4のコントロール部は天面にあります。)

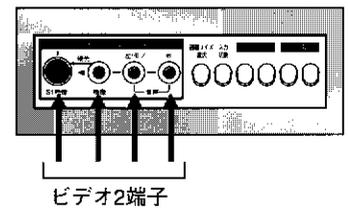
本体後面ビデオ端子に接続する



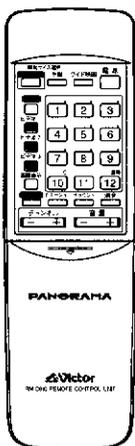
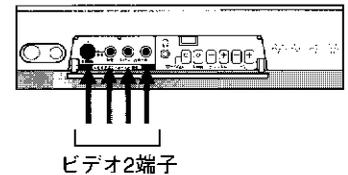
本体前面ビデオ端子に接続する (AV-28V4)



AV-24V4の場合 (本体天面コントロール部)



AV-20V4の場合
(本体前面コントロール部)



ビデオテープを再生するときは、次の手順で操作します。

- 1 ビデオ機器の電源を入れます。
- 2 【ビデオ1】または【ビデオ2】のボタンを押します。
ビデオデッキを再生するときは【ビデオ1】ボタン、ビデオムービーを接続するときは【ビデオ2】ボタンを押します。
(AV-28V4はビデオムービーを接続するときは【ビデオ3】ボタンを押します。)
- 3 ビデオ機器で再生の操作をします。

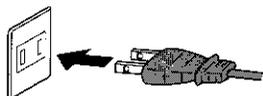


●ハイビジョン番組の録画テープを再生するときの注意

- ・映像が不自然な状態で映るときは、【レギュラー/フル】ボタンで画面サイズをフルに切り換えてご覧ください。
- ・映像の周囲に黒い部分がでるときは、【手動】ボタンで画面サイズをシネマに切り換えてご覧ください。

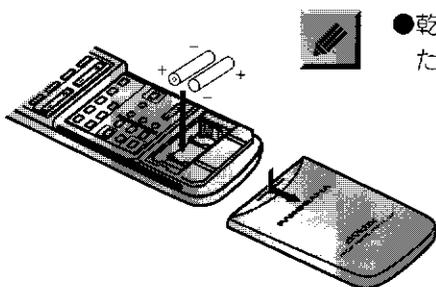
■電源プラグの接続

家庭用コンセント（交流100V）に接続します。



■リモコンの乾電池の入れ方

単4乾電池を2本入れます。電池は2本とも新しいものを使用します。



- 乾電池は使い方にもよりますが、6か月から1年間使えます。ただし、付属している乾電池は動作確認用です。

■本体後面の接続端子について

本体の後面には、アンテナやビデオデッキ（据置型）などを接続する端子があります。



- それぞれの接続方法については次ページ以降の説明をお読みください。

モニター出力端子

AVアンプなどを接続します。S端子付のビデオデッキでハイビジョン番組を録画する場合には、この端子のS映像端子に接続します。



VHF / UHFアンテナ入力端子

VHF / UHFアンテナ、CATVのケーブルを接続します。

ビデオ1、ビデオ2入力端子

ビデオ機器を接続します。S1端子付のビデオ機器はできるだけビデオ1入力端子に接続します。

*後面のビデオ2端子はAV-28V4のみです。

VHF、UHFアンテナの接続

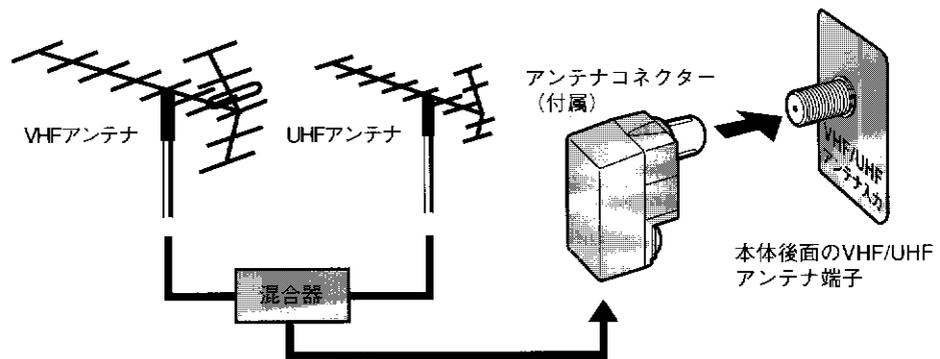
アンテナの接続は販売店にご依頼になるのが確実です。ご自分で接続するときは、部屋にあるアンテナ端子のVHFとUHFが別々になっているか混合されているかを確認し、それぞれ次の方法で接続してください。



- 据置型ビデオデッキを同時に接続する場合、アンテナはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのアンテナ出力を本機のVHF/UHFアンテナ入力端子に接続します。
〔ビデオ機器の接続〕p26、およびビデオの取扱説明書参照
- アンテナケーブルには同軸ケーブル、フィーダー線の2種類があります。フィーダー線は同軸ケーブルにくらべて電波妨害に弱いので、できるだけ同軸ケーブルをお使いください。
- アンテナコネクターの接続方法は、次のページを参照してください。

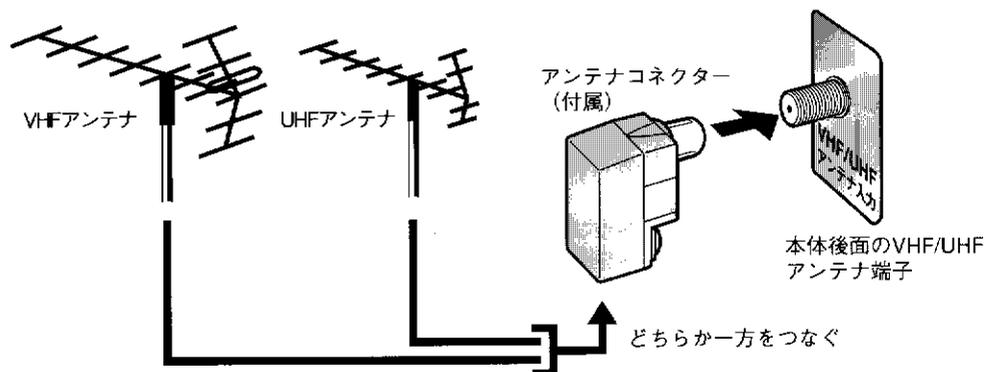
●VHFとUHFが混合されているとき

混合器からのケーブルを、付属のアンテナコネクターに接続し、本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。



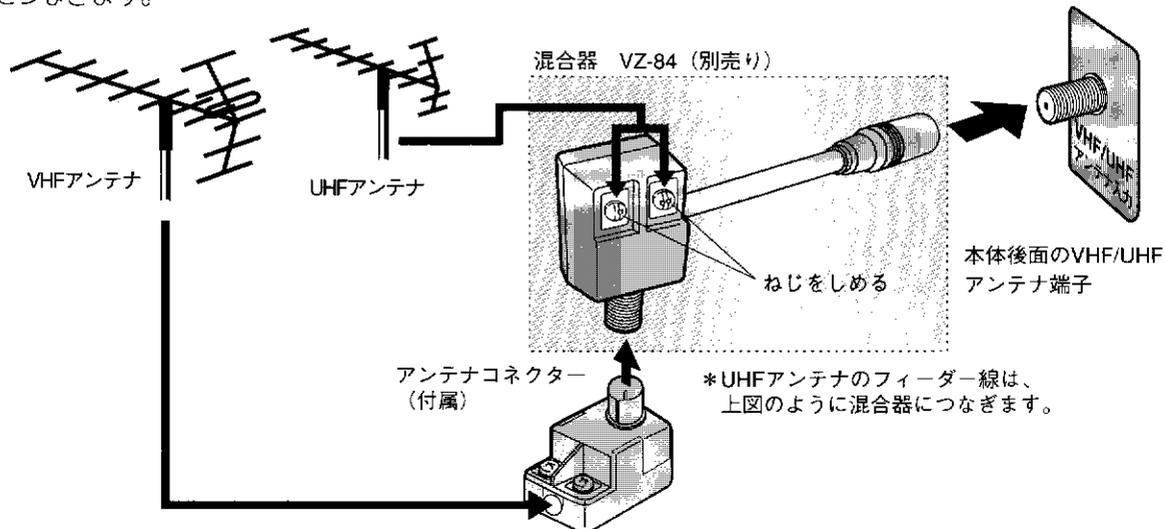
●VHFとUHFどちらか一方を接続するとき

VHFまたはUHFアンテナからのケーブルを、付属のアンテナコネクターに接続し、本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。



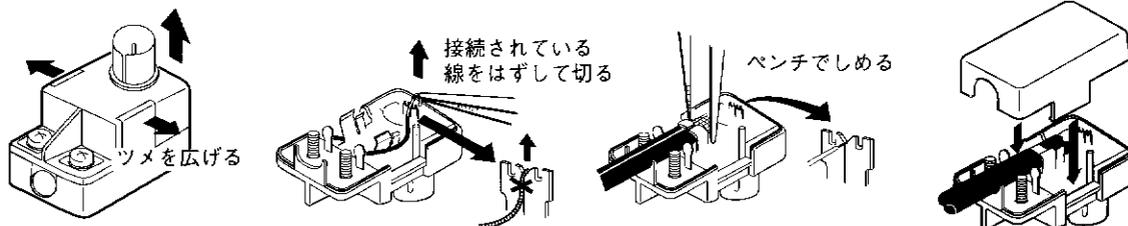
●VHFとUHFの端子が別々になっているとき

VHFとUHFのケーブルを別売りの混合器で一つにして接続し、本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。

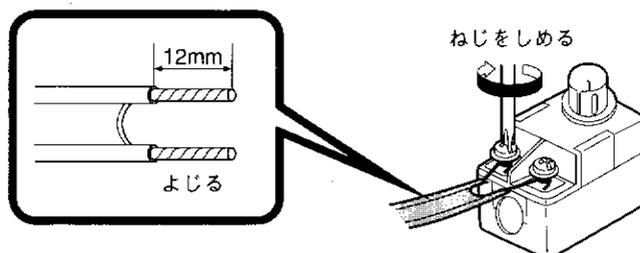


●アンテナコネクタのつなぎかた (同軸ケーブルの場合)

1. カバーをあける
2. 接続線を取りはずす
3. ケーブルをつなぐ
4. カバーをつける

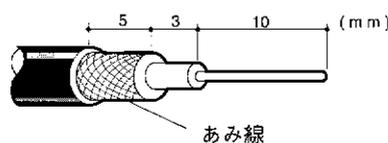


●アンテナコネクタのつなぎかた (フィーダー線の場合)

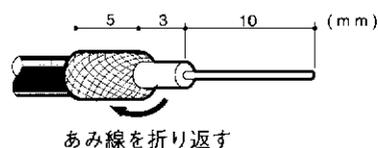


●同軸ケーブルの加工寸法

太いケーブル (5C-2V TVEFCX)



細いケーブル (3C-2V)



■CATVケーブルの接続

CATV (ケーブルテレビ) を受信するには、地域のCATV会社との契約が必要です。ケーブルのつなぎかたは、CATV関連会社にお問い合わせください。

■ビデオ機器の接続

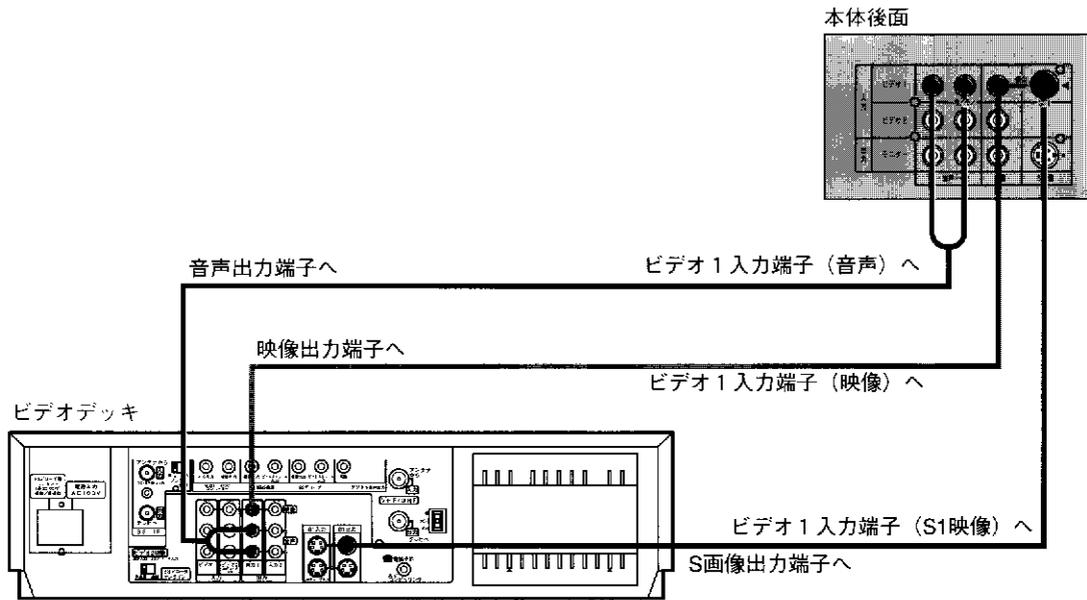


●必ずそれぞれの機器の電源を切ってから接続してください。



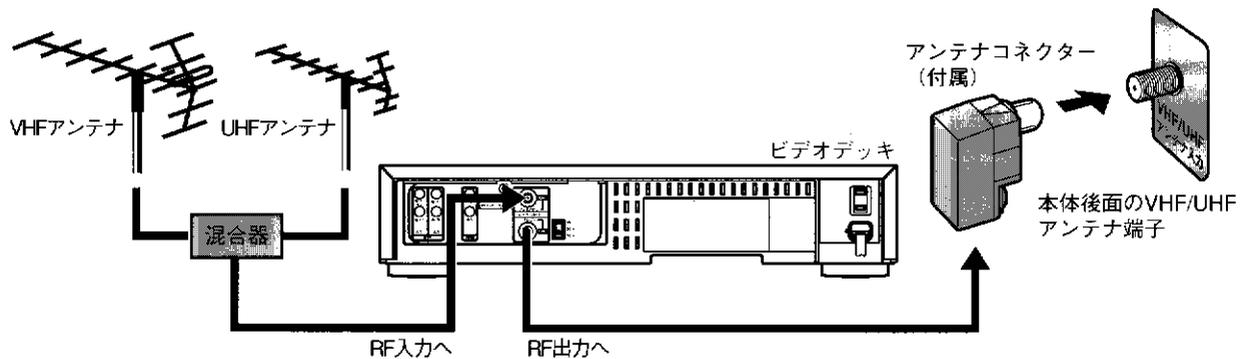
●ここでの説明は接続方法の一例です。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてお読みの上、最適な方法で接続してください。

●ビデオテープを再生するには→22ページ参照



ビデオデッキにS映像端子がないときは、映像ケーブルを映像端子に接続します。

●ビデオデッキのアンテナ端子を使って接続する場合



■オーディオ機器の接続

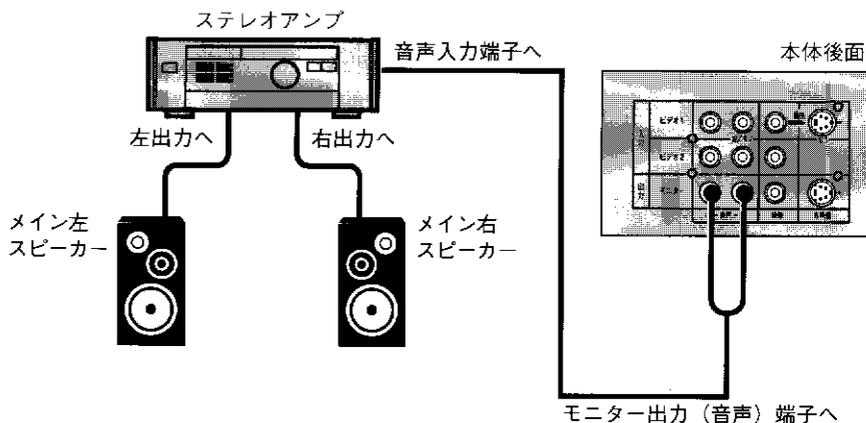
本機とオーディオ機器を接続すると、オーディオ機器のスピーカーからテレビ音声を楽しむことができます。



- 必ずそれぞれの機器の電源を切ってから接続してください。
- オーディオ機器のスピーカーをテレビに近づけすぎると、スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色ムラがでることがあります。スピーカーはテレビから20～30cm以上離して置いてください。
- スピーカーを離しても色ムラがでるときは、いったん電源を切り、30分後にふたたび電源を入れてください。



- 音量や音質の調節はオーディオ機器側で行ってください。

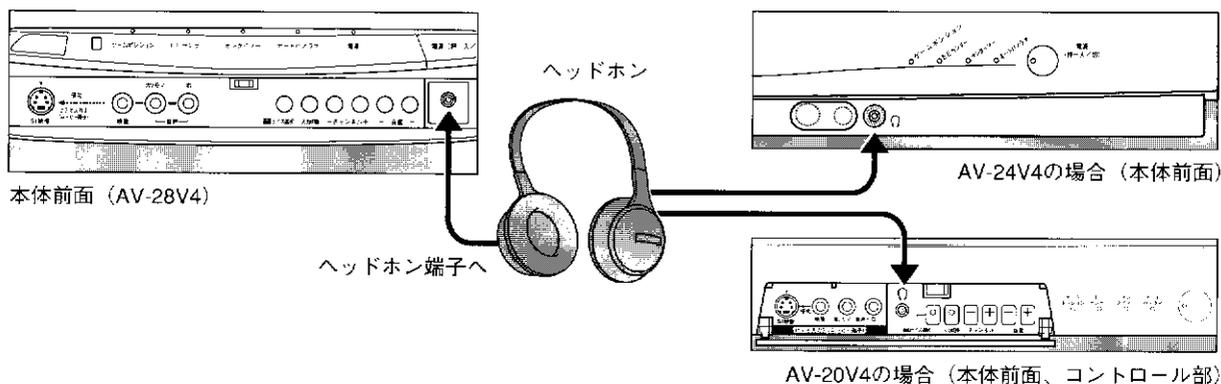


■ヘッドホンの接続

テレビの音声をヘッドホンで聞くときは、本体前面のヘッドホン入力端子にヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続すると、本体内蔵のスピーカーの音は消えます。



- ヘッドホンはステレオミニジャック付のものをお使いください。



■メニュー機能

メニュー機能には、時計合わせの機能やおはようタイマーの機能、アンテナ、AV機器を接続するために必要な機能、テレビをより使いやすくするための機能などが集められています。次の説明を参照して、必要な設定をしてください。

1. タイマー設定

●時計合わせ (p.30)

本体内の時計を正確な時刻に合わせます。
テレビを使い始める前に必ず設定しておいてください。

●おはようタイマー (p.31)

毎日、一定の時間にテレビの電源を入れ、予約したチャンネルに切り換えます。
テレビを目覚ましとして使うとき、毎日決まった番組を忘れずに見たいときなどに設定してください。

2. チャンネル設定

●チャンネル合わせ (p.32)

リモコンのチャンネルボタン【1】～【20】ボタンを押して受信できるようにチャンネルを設定します。
チャンネルボタンにUHFやCATVのチャンネルを設定するときに設定してください。

●チャンネルスキップ設定 (p.33)

【チャンネル(－、＋)】ボタンを押したときに選べるチャンネル、飛び越すチャンネルを設定します。
放送が映らないあきチャンネルを選択したくないときなど、必要に応じて設定してください。

●CATVダイレクト設定 (p.34)

2桁の数値を入力してチャンネルを選択できるようにします。
例：16チャンネルを選択するとき、チャンネルボタン【1】【6】ボタンを押す。
受信できるチャンネルの数が1～20では足りなくなったときなどに設定してください。

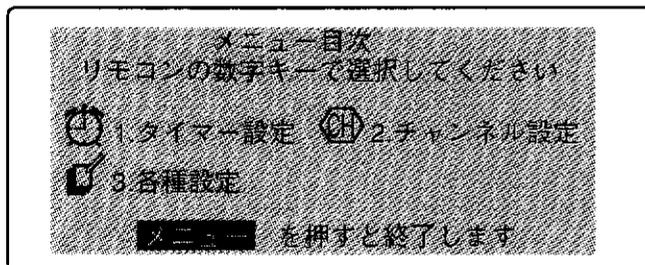
3. 各種設定

●モニター出力設定 (p.35)

ビデオ1入力端子の信号をモニター出力端子に出力するかどうかを設定します。
ビデオテープをダビングする場合など必要に応じて設定してください。

■メニューの基本操作

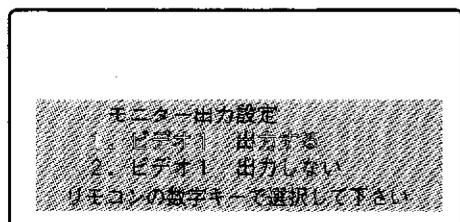
●メニュー画面の表示



メニュー画面を表示するとき
【メニュー】ボタンを押します。

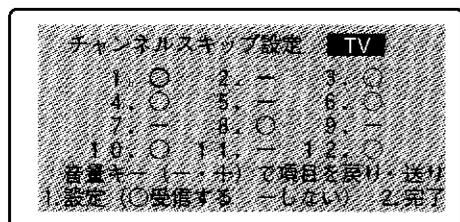
項目を選ぶとき
チャンネル【1】～【4】ボタンで設定する項目の番号を選びます。

●項目の選択



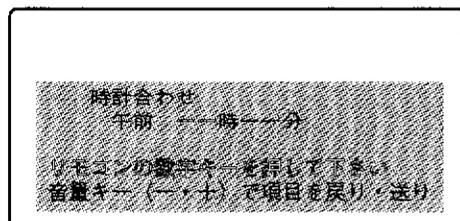
「リモコンの数字キーで選択して下さい」と表示されたとき
チャンネル【1】～【4】ボタンで設定する項目の番号を選びます。

●項目の移動



「音量キー(一・十)で項目を戻り・送り」と表示されたとき
【音量(-、+)] ボタンで設定する項目を選びます。
(設定を間違えたときは、【音量(-、+)] ボタンで間違えた項目に戻りもう一度設定し直します。)

●数値の入力



「リモコンの数字キーを押して下さい」と表示されたとき
【1】～【10] ボタンで2桁の数値を入力します。【10] ボタンは「0」
として使います。

3 (1桁の数値) を入力→【3] ボタンまたは【10] 【3] ボタン
18 (2桁の数値) を入力→【1] 【8] ボタン

●設定の終了

「メニューを押すと終了します」と表示されたときは、【メニュー] ボタンを押して終了します。
「消音を押すと終了します」と表示されたときは、【消音] ボタンを押して終了します。

●設定の中止

メニュー機能の操作を途中で終了するときは、【メニュー] ボタンを押します。いつでも終了できます。



- この他の操作については、画面下側に表示されるメッセージに従って操作してください。
- 各メニューの項目の機能や具体的な操作方法については、次のページ以降をご覧ください。

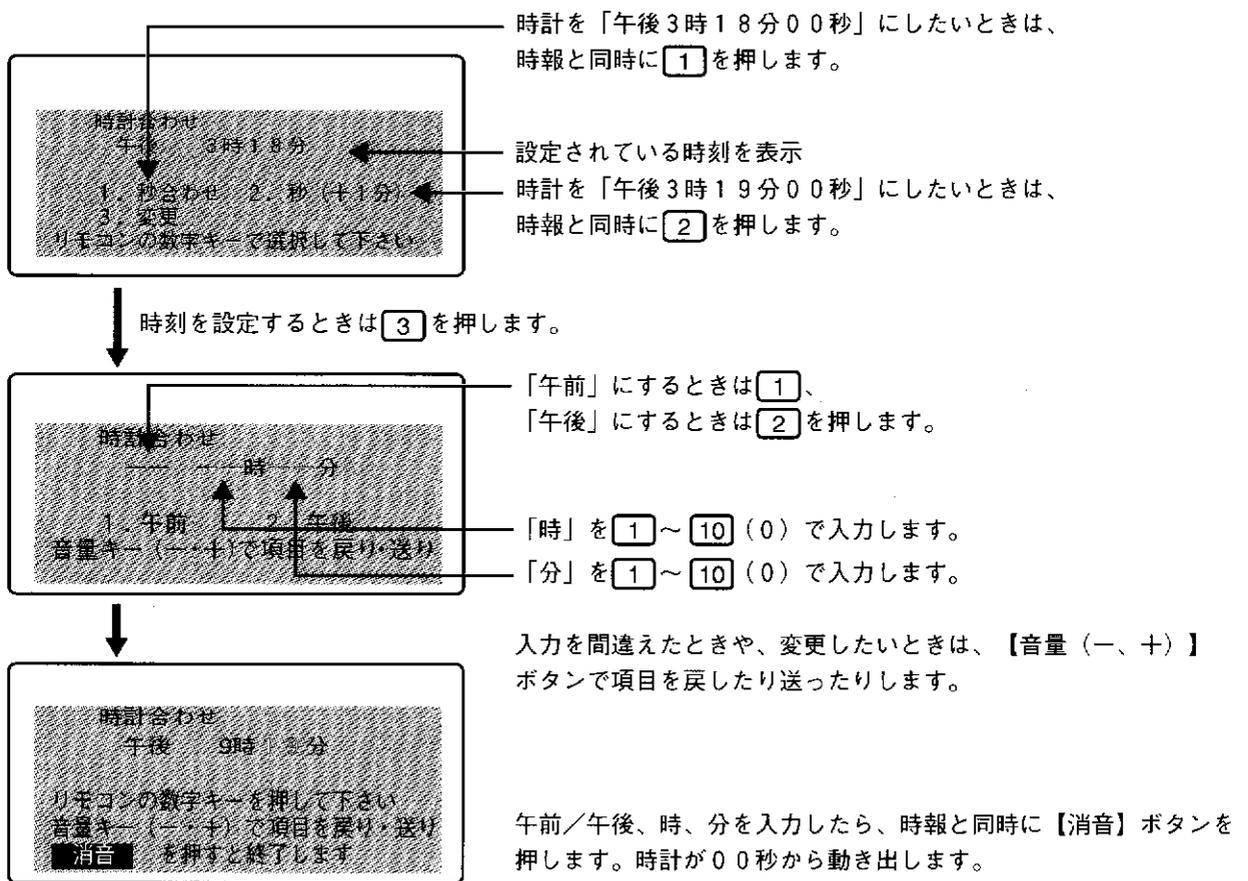
■時計合わせ

本体内部の時計を正確な時刻に合わせます。

- 1. 秒合わせ : 時計が何秒か進んでいるとき、時報と同時にボタンを押して00秒に戻します。
- 2. 秒 (+1分) : 時計が何秒か遅れているとき、時報と同時にボタンを押して00秒に進めます。分が1分進みます。
- 3. 変更 : 時計を正しい時刻に合わせます。

次のようにボタンを押して、時計合わせの画面を表示します。

【メニュー】ボタン→【1】ボタン(タイマー設定)→【1】ボタン(時計合わせ)



- 12時は0時と表示されます。
- 時、分に数値を入力するには、次のようにチャンネルボタンを押します。
3 (1桁の数値) を入力→【3】ボタンまたは【10】、【3】ボタン
18 (2桁の数値) を入力→【1】、【8】ボタン

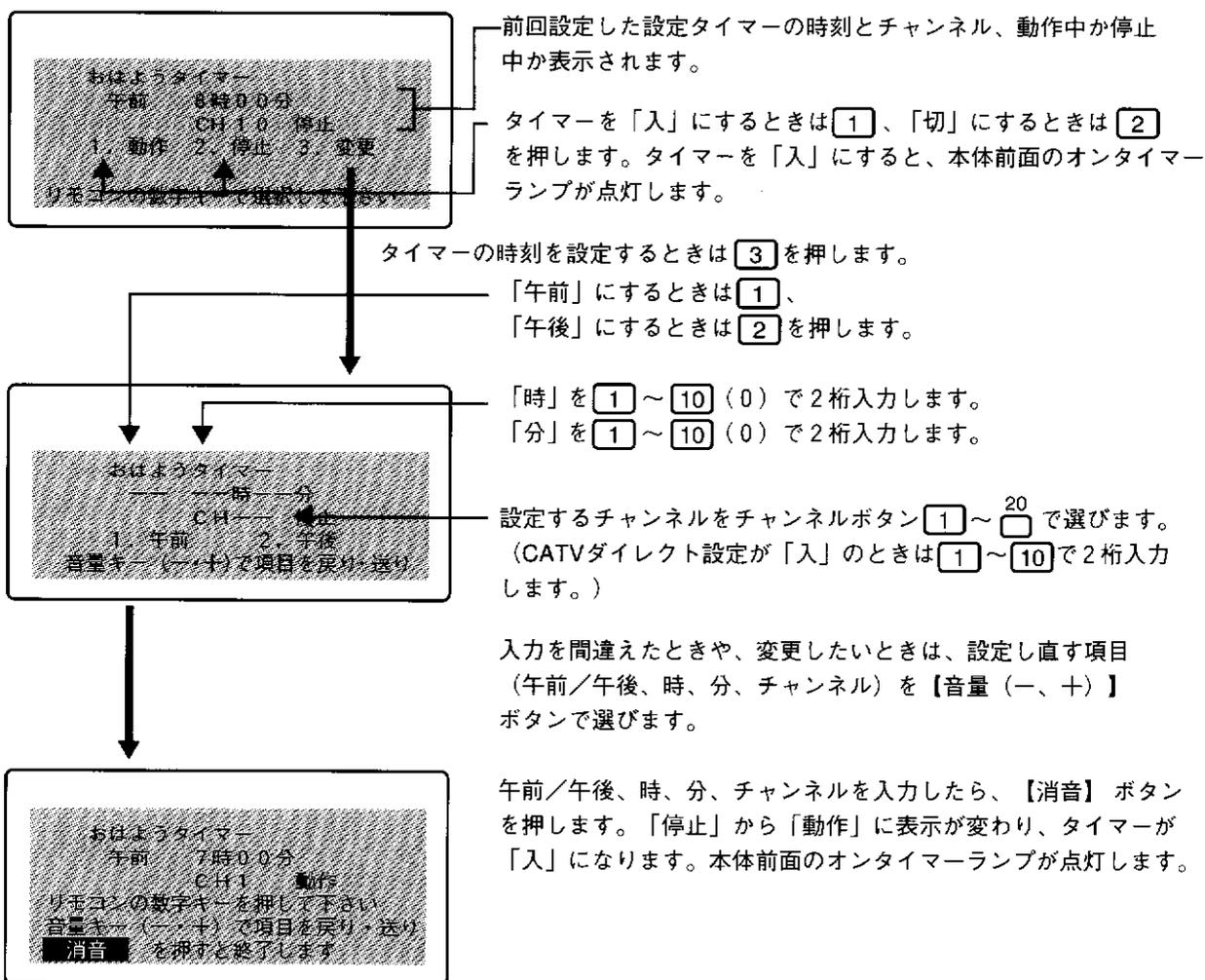
■おはようタイマー

電源を自動的に入れる時刻と予約したいチャンネルを設定します。

- 1. 動作：おはようタイマーを「入」にします。
- 2. 停止：おはようタイマーを「切」にします。
- 3. 変更：おはようタイマーの時刻とチャンネルを設定し、タイマーを「入」にします。

次のようにボタンを押して、タイマー合わせの画面を表示します。

【メニュー】ボタン→【1】ボタン（タイマー設定）→【2】ボタン（おはようタイマー）



- おはようタイマーは時計合わせをしていないと使えません。
- 本体の電源ボタンで電源を切るとおはようタイマーが使えません。必ずリモコンの電源ボタンで電源を切ってください。



- 12時は0時と表示されます。
- 設定を途中で終了するときは、【メニュー】ボタンを押します。
- おはようタイマーが動作して電源が入ってから約2時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。
- コンセントを抜き差ししたときや、停電になったときは、自動的に「停止」になります。タイマーを動作させたいときは、もう一度設定し直してください。

■チャンネル合わせ

リモコンのチャンネルボタン【1】～【20】ボタンにVHFやUHF、CATVのチャンネルを設定します。

【1】～【12】ボタンはVHFの1～12チャンネルになっています。そのままではよいときは、この設定は必要ありません。

- リモコン : チャンネル合わせをするリモコンのボタンを選びます。
- 受信チャンネル : 設定するVHFやUHF、CATVのチャンネルを選びます。
- 表示 : 画面に表示するチャンネル番号を設定します。
- ファイン調整 : 周波数を微調節します。画面に縞や乱れが出るときに使います。

VHF (UHF、CATV) のチャンネルに切り換え、次のようにボタンを押して、チャンネル合わせの画面を表示します。

【メニュー】ボタン → 【2】ボタン (チャンネル設定) → 【1】ボタン (チャンネル合わせ)

チャンネルボタン ～ を押して選びます。

【チャンネル (－、＋)】ボタンを押して選びます。
選んだチャンネルに切り換わります。

10の位は【ビデオ1】ボタン、1の位は【ビデオ2】ボタンを押して選びます。設定できるチャンネルは、VHFの1～12チャンネル、UHFの13～62チャンネル、CATVのC13～C35チャンネルです。

きれいに映らないときは、【音量 (－、＋)】ボタンを押して調節します。(左の調節画面が表示されます。)
画面に縞が出るときは一側、色が出ないときは十側を押します。

設定が終わったら【消音】ボタンを押して記憶させます。
続けて他のボタンを設定するときは、ここまでの操作を繰り返します。
設定を終了するときは【メニュー】ボタンを押します。



●設定したチャンネルボタンに付属の局名シールを貼ると、新しいチャンネルが一目でわかって便利です。

●チャンネル合わせの例

【2】ボタンにUHFの16チャンネルを設定するときは、次のように操作します。

- 1 【2】ボタンを押して、リモコンの欄に「2」を表示させます。
- 2 【チャンネル (－、＋)】ボタンを押して、受信チャンネルの欄に「16」と表示させます。
- 3 【ビデオ1】ボタンを押して、表示の欄の10の位を1に、【ビデオ2】ボタンを押して、1の位を6と表示させます。
きれいに映らないときは、【音量 (－、＋)】ボタンを押して調節します。
- 4 【消音】ボタンを押して、設定内容を記憶させます。
- 5 【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。

■チャンネルスキップ設定

【チャンネル（－、＋）】ボタンでチャンネルを順番に切り換えるとき、放送が映らないチャンネルをスキップする（飛びこす）ように設定します。

- 1. 設定 ○受信する：【チャンネル（－、＋）】ボタンで選べるようにします。（スキップ解除）
- 1. 設定 －しない：【チャンネル（－、＋）】ボタンで選べなくします。（スキップ）

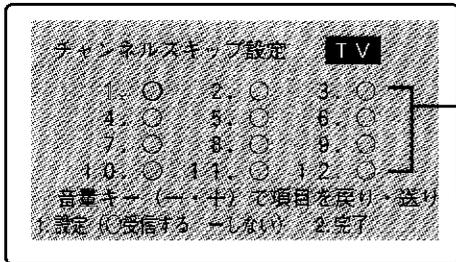


- 設定できるチャンネルは、CATVダイレクト設定が「入」か「切」かで異なります。
CATVダイレクト設定が「切」のとき
 - ・チャンネル【1】～【20】ボタンのスキップを設定できます。
 CATVダイレクト設定が「入」のとき
 - ・チャンネル【1】～【12】ボタンのスキップを設定できます。
 - ・CATVチャンネル C13～C35にあらかじめ設定されているスキップを解除できます。（「CATVダイレクト設定」p.34参照）

●チャンネルボタン【1】～【20】（【1】～【12】）の飛び越し

VHF（UHF、CATV）のチャンネルに切り換え、次のようにボタンを押してチャンネルスキップの画面を表示します。

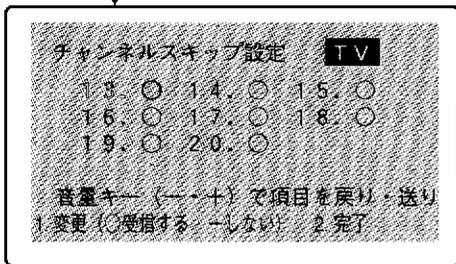
【メニュー】ボタン→【2】ボタン（チャンネル設定）→【2】ボタン（チャンネルスキップ設定）



設定を変更するときは **1** を押します。押すたびに○と－交互に切り換わります。

設定するチャンネルを移動するときは【音量（－、＋）】ボタンを押します。
設定するチャンネルを移動し続けると、13～20の設定画面が順番に表示されます。

（CATVダイレクト設定が「入」のときは、13～20の設定は表示されません。）



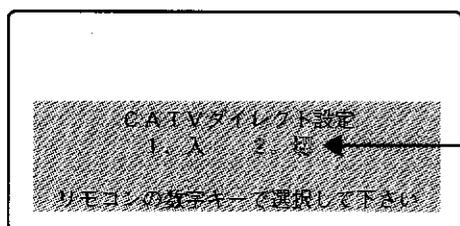
■CATV ダイレクト設定

CATVのチャンネルをチャンネルボタンでダイレクトに選局するか、チャンネル番号を2桁の数値で入力して選局するかを設定します。

- CATVダイレクト切：CATVのチャンネルをチャンネルボタンに設定して選びます。(「チャンネル合わせ」p.32参照)
- CATVダイレクト入：CATVのチャンネル番号を2桁の数値で入力して選びます。

次のようにボタンを押して、CATVダイレクト設定の画面を表示します。

【メニュー】ボタン→【2】ボタン(チャンネル設定)→【3】ボタン(CATVダイレクト設定)



CATVダイレクトを「入」にするときは「1」、「切」にするときは「2」を押します。
数秒後にメニューが終了します。

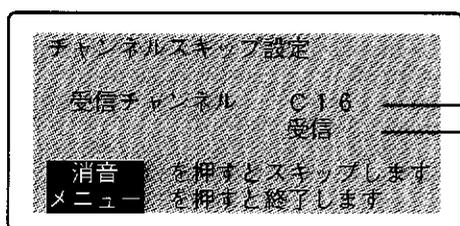


- おはようタイマーで13~20のチャンネルが設定されているとき、CATVダイレクト設定を入にすると、チャンネルの設定は1チャンネルに変更されます。
- おはようタイマーでCATVのチャンネルが設定されているとき、CATVダイレクト設定を切にすると、チャンネルの設定は1チャンネルに変更されます。
- CATVダイレクト設定の入/切を切り換えると、表示中のチャンネルが切り換わることがあります。

●CATVダイレクトを「入」にしたときのチャンネルスキップ設定

【チャンネル(-、+)】ボタンで選局できるようにします。C13~C35チャンネルに切り換え、次のようにボタンを押します。

【メニュー】ボタン→【2】ボタン(チャンネル設定)→【2】ボタン(チャンネルスキップ設定)



設定するチャンネルを変更するときは、チャンネル[-][+]ボタンを押します。

設定を変更するときは消音[]を押します。



- 1~12チャンネルのチャンネルスキップ設定は、通常のチャンネルスキップ設定と同じ方法で行います。(「チャンネルスキップ設定」p.33参照)

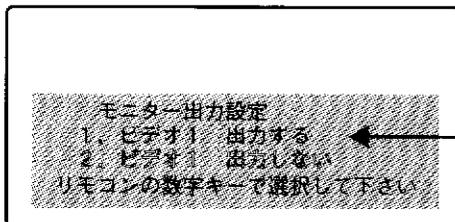
■モニター出力設定

ビデオ1入力端子の映像信号と音声信号をモニター出力端子に出力するかしないかを設定します。
次の設定ができます。

- ビデオ1 出力する** : ビデオ1に接続したビデオ機器の再生映像を、モニター出力端子に接続した別のビデオ機器で録画（ダビング）するようなときに設定します。
- ビデオ1 出力しない** : ビデオ1とモニター出力端子を同じビデオデッキに接続するようなときに設定します。モニター出力の信号がビデオデッキを経由してビデオ1に戻ってくると、画面の乱れや発振音が出ることがあります。このような状態を防ぎます。

次のようにボタンを押して、モニター出力の画面を表示します。

【メニュー】ボタン→【3】(各種設定)→【1】(モニター出力設定)



「ビデオ1 出力する」にするときは **1**、「ビデオ1 出力しない」にするときは **2** を押します。
数秒後にメニューが終了します。

■故障かな？と思ったらまず確かめて

あてはまる症状を探し、原因／対処／参照ページを確認してください。

直らなかったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源が突然切れた

- | | |
|------|--|
| 原因 1 | ●「オフタイマー」が作動した。 |
| 原因 2 | ●「おはようタイマー」で電源が入ってから2時間操作しなかった。 |
| 対処 | →リモコンの【電源】ボタンを押して、電源を入れる。(「リモコンの電源ボタン」p.6参照) |

リモコン操作ができない

- | | |
|------|--|
| 原因 1 | ●テレビ本体の電源が入っていない。(本体の電源ランプが点灯していないとき) |
| 対処 | →本体の【電源】ボタンを押す。(「本体の電源ボタン」p.6参照) |
| 原因 2 | ●リモコンの乾電池の＋と－が逆になっている。 |
| 対処 | →乾電池を入れ直す。(「リモコンの乾電池の入れ方」p.23参照) |
| 原因 3 | ●乾電池が消耗している。 |
| 対処 | →乾電池を2本とも新しいものと交換する。(「リモコンの乾電池の入れ方」p.23参照) |

VHF (UHF) が映らない

- | | |
|------|--|
| 原因 1 | ●受信チャンネルの設定をしていないチャンネルボタンを押した。 |
| 対処 | →メニュー機能の「チャンネル合わせ」で受信するチャンネルを設定する。(「チャンネル合わせ」p.32参照) |
| 原因 2 | ●チャンネルの周波数がずれている。(色がでなかったり縞がでたりする) |
| 対処 | →メニュー機能の「チャンネル合わせ」でファイン調整をする。(「チャンネル合わせ」p.32参照) |

見ていたチャンネルが突然変わった

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 原因 1 | ●おはようタイマーが働いた。(本体のオンタイマーランプが点灯しているとき) |
| 対処 | →チャンネルボタンで見たいチャンネルを選択する。 |

テレビ内蔵のスピーカーから音が出ない

- 原因1 ●音の大きさが最小になっている。
 対処 →【音量（+、-）】ボタンを押して、音を大きくする。（「リモコンの音量（-、+）ボタン」 p.9、「本体の音量（-、+）ボタン」 p.9参照）
- 原因2 ●ヘッドホンが接続されている。
 対処 →ヘッドホンはずす。（「ヘッドホンの接続」 p.27参照）

テレビをオーディオ機器に接続したとき、音が出ない

- 原因1 ●アンプの接続が正しくない。
 対処 →アンプ側の取扱説明書も参照して、正しく接続し直す。（「オーディオ機器の接続」 p.27参照）
- 原因2 ●アンプの電源が入っていない。
 対処 →アンプの電源を入れる。
- 原因3 ●アンプの切り換えが間違っている。
 対処 →テレビからの音が選べるようにスイッチを切り換える。

接続したビデオ機器からの映像が映らない

- 原因1 ●ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3の切り換えが間違っている。
 対処 →【ビデオ1】、【ビデオ2】、【ビデオ3】ボタンのうち、ビデオ機器が接続してある入力ボタンを押す。（「ビデオ1/2/3ボタン」 p.19参照）（ビデオ3、【ビデオ3】ボタンはAV-28V4のみです。）
- 原因2 ●ビデオ機器が正しく接続されていない。
 原因3 ●ケーブルが外れている。
 対処 →入力と出力を間違えないように、正しく接続し直す。（「ビデオ機器の接続」 p.26参照）

このようなときは故障ではありません。

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。
- 部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。

■こんなメッセージが表示されたら

リモコンや本体のボタンを押しても、すでに選択中の機能によって操作できないことがあります。このようなときは、赤でメッセージが表示されます。

画面のメッセージにしたがって、選択中の機能を解除してから再度操作するか、操作を中止してください。

CATVダイレクトモード選択中です

- 原因** ●CATV ダイレクト設定を入に設定してあるとき、メニュー機能の「チャンネル合わせ」をしようとした。
- 対処** ▶チャンネルボタンにチャンネルを設定したいときは、メニュー機能の「CATVダイレクト設定」を切に設定してください。(「CATVダイレクト設定」 p.34参照)

映像選択がシアターのため 操作できません

- 原因** ●映像選択で「シアター」を選んでいたり、【白バランス】 ボタンを押した。
- 対処** →どうしても【白バランス】 ボタンを使いたいときは、【映像選択】 ボタンを押してノーマルまたはリビングを選んでから再度操作します。(「映像選択ボタン」 p.15参照)

オートパノラマ選択中のため 垂直スクロールの操作はできません

- 原因** ●オートパノラマ画面を選んでいたり、【垂直スクロール (▼、▲、センター)】 ボタンを押した。
- 対処** →【手動】 ボタンで画面サイズを選んでから【垂直スクロール (▼、▲、センター)】 ボタンを押します。(「手動ボタン」 p.11、「垂直スクロールボタン」 p.13参照)

画面サイズフルモード中です

- 原因** ●ハイビジョン番組受信中やハイビジョン番組を録画したテープを再生中に【レギュラー/フル】ボタンを押した。
- 対処** ・ハイビジョン番組受信中の場合、どうしても画面サイズを変更したいときは、MUSE-NTSCコンバーターのボタンで切り換えます。

ゲームポジション選択中です
切にするには
ゲームボタンを押して下さい

- 原因** ●ゲーム画面を選んでいたとき、【レギュラー/フル】ボタンまたは【オートパノラマ】ボタン、【手動】ボタン、【ワイド映画】ボタン、本体の【画面サイズ選択】ボタン、【サラウンド】ボタン、【白バランス】ボタン、【映像選択】ボタンを押した。
- 対処** →【ゲーム】ボタンを押してゲーム画面を終了してから再度操作してください。（「ゲームボタン」p.18参照）

ワイド映画ポジション選択中です
切にするには
ワイド映画ボタンを押して下さい

- 原因** ●ワイド映画の画面を選んでいたときに、【レギュラー/フル】ボタンまたは【ゲーム】ボタン、【低音】ボタン、【E.E.センサー】ボタン、【サラウンド】ボタン、【白バランス】ボタン、【映像選択】ボタンを押した。
- 対処** →【ワイド映画】ボタンを押してワイド映画を解除してから再度操作してください。（「ワイド映画ボタン」p.11参照）

時計合わせをして下さい

- 原因** ●時計合わせをしていないのに、おはようタイマーを設定しようとした。
- 対処** →メニュー機能の「時計合わせ」で時刻を設定してから、再度おはようタイマーを設定してください。（「時計合わせ」P.30参照）

■こんなことがしたいときは（目的別索引）

目的から機能を探したいときにお使いください。

リモコンの電池が切れた／本体だけで操作したい

電源の入、切→本体の【電源】ボタン	6
VHF/UHF、ビデオ1～3を切り換える→本体の【入力切換】ボタン	6
チャンネルを順送りする→本体の【チャンネル（－、＋）】ボタン	8
画面サイズを切り換える→本体の【画面サイズ選択】ボタン	12
オートパノラマにする→本体の【画面サイズ選択】ボタン	12
リモコンの乾電池の入れ方	23

テレビ放送（VHF、UHF）を見たい

準備

VHF、UHFアンテナの接続	24
リモコンの空きチャンネルに放送局をセットする→チャンネル合わせ	32
チャンネルを順送りするとき、空きチャンネルをとびこすように設定する →チャンネルスキップ設定	33

VHF、UHFのチャンネルを選ぶ

見たい放送局に切り換える→チャンネルボタン	7
チャンネルを順番に切り換える→【チャンネル（－、＋）】ボタン	8

音声多重放送の音声を切り換える

二カ国語放送の音声を切り換える→【音声切換】ボタン	13
ステレオ放送になると雑音が入るのでモノラルに切り換える →【音声切換】ボタン	13

CATV（ケーブルテレビ）を見たい

準備

CATVケーブルの接続	25
2桁の数値を入力してチャンネルを選択できるように設定する →CATVダイレクト設定	34
【チャンネル（－、＋）】ボタンで選べるように設定する →チャンネルスキップ設定	34

CATVのチャンネルを選ぶ

チャンネルボタン（CATVダイレクトが設定されているとき）	7
-------------------------------	---

画面のサイズを変えたい

画面サイズを自動切り換えにする→【オートパノラマ】ボタン	10
画面サイズを自分で選ぶ →【手動】ボタン、本体の【画面サイズ選択】ボタン	11、12
ひとつの画面サイズに固定しておく→【手動】ボタン	11
ピスタサイズ、シネスコサイズ（横長の画面）の黒帯部分をカットする →（字幕パノラマ、シネマを選ぶ）【手動】ボタン	11
→（字幕パノラマ、シネマを選ぶ）【ワイド映画】ボタン	11
通常のテレビの映像（4:3）を画面いっぱい映す →（パノラマを選ぶ）【手動】ボタン	11

画面の位置を調節したい

- 画面の上の方や下の方を映す→【垂直スクロール（▼、▲、センター）】ボタン 13
 字幕を読みやすい位置に調節する→【垂直スクロール（▼、▲、センター）】ボタン ... 13

タイマー機能を使いたい

- テレビを自動的に切りたい→【オフタイマー】ボタン 18
 番組を忘れずに見たい→おはようタイマー 31
 テレビを目覚ましとして使う→おはようタイマー 31

画面の色や明るさを自分で調節したい

- 画質を調節する→【映像調節】ボタン、【表示】ボタン 16
 4つの映像状態から最適な画面を呼び出す→【映像選択】ボタン 15
 調節した画面を工場出荷状態に戻す→【標準】ボタン 17
 部屋の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に変える
 →【E.E.センサー】ボタン 17
 画面の青みや赤みを変える→【白バランス】ボタン 18

音質を自分で調節したい

- 低音、高音、バランスを調節する→【音声調節】ボタン 14
 音の広がりを強調させる→【サラウンド】ボタン 15
 低音を強調させる→【低音】ボタン 15

テレビゲームをしたい

- テレビゲームに最適な音声と映像にする→【ゲーム】ボタン 18
 テレビゲームを楽しむには（映像・音声出力端子付きゲーム機の場合） 20
 テレビゲームを楽しむには（映像・音声出力端子がないゲーム機の場合） 21

ビデオ機器を使いたい

準備

- ビデオ機器の接続 26
 オーディオ機器の接続 27

再生

- テレビにビデオ機器の映像を映す→【ビデオ1】【ビデオ2】【ビデオ3】ボタン 19
 →本体の【入力切換】ボタン 6
 →ビデオテープを再生するには 22
 ハイビジョン番組の録画テープを再生しても、フルサイズで表示されないとき
 →【レギュラー/フル】ボタン 12

録画・ダビング

- ビデオテープのダビングで、ビデオ1につないだビデオデッキを再生用に使うとき
 →モニター出力設定 35

仕様

項目	型名	AV-20V4	AV-24V4	AV-28V4
種類		カラーテレビ		
受信方式		NTSC		
受信チャンネル		VHF 1~12/UHF 13~62/CATV C13~C35		
使用電源		AC100V、50/60Hz		
消費電力		91W 待機時2.0W	131W 待機時2.0W	138W 待機時1.9W
年間消費電力量		125kW・h/年	—	192kW・h/年
画面寸法 (幅×高さ×対角)		20型40.2×22.6×46.0cm	24型48.8×27.5×56.0cm	28型57.5×32.4×66.0cm
音声出力		3W+3W	3W+3W	11W+11W
スピーカー		4.5×10cmだ円形、2個	8×12cmだ円形、2個	低音用 10cm丸型、2個 高音用 3.5cm丸型、2個
アンテナ端子		VHF/UHF 75Ω、F型		
入力/出力端子	ビデオ1/2/3入力端子 *ビデオ3入力はAV-28V4のみ *AV-28V4のビデオ2入力にはS1映像端子はありません	S1映像 : Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p パースト信号)、75Ω 映像 : 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声 : 0.5V(rms)、ハイインピーダンス		
	モニター出力端子	S1映像 : Y 1Vp-p、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p パースト信号)、75Ω 映像 : 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声 : 0.5V(rms)、ローインピーダンス		
最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)		58.2×37.0×45.2cm	63.7×41.5×44.5cm	71.6×49.2×49.7cm
質量		18.3kg	26.8kg	39.0kg
別売品		テレビスタンド* RK-C24WA2/RK-C28WA2 アンテナ混合器 VZ-84		

※このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

※仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※テレビの型(28型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

※年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

保証と修理サービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みした後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

カラーテレビの補修用性能部品の最低保有期間は製造切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口（別添サービス窓口案内をご覧ください）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

36、37ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	カラーテレビ
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ

お買い上げの販売店	お近くのビクターサービス窓口
電話 () -	電話 () -

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用中

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。



PANORAMA



JVC Loves the Earth



この取扱説明書は
エコマーク認定の
リサイクルペーパーを
使用しています。

お客様ご相談センター

東京

(03)5684-9311 [代表]

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪

(06)765-4161 [代表]

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



JVC

日本ビクター株式会社

テレビ事業部

〒306-06 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話(0297)35-1111[代表]

©1995 VICTOR COMPANY OF JAPAN,LIMITED

CQ40034-A01
0995-TN-CDG-VP